

補強・高摩擦ミネルパ

◀ 混練用途 ▶

繊維の特性の一つに“補強効果”というものがあります。そのため、例えば、石膏などの無機材料やゴム、樹脂などに混練して使用されることがあります。

ミネルパの場合、パルプ繊維の表面を無機物で被覆しているため、これらのマトリックスへの分散性を高められると期待されます。



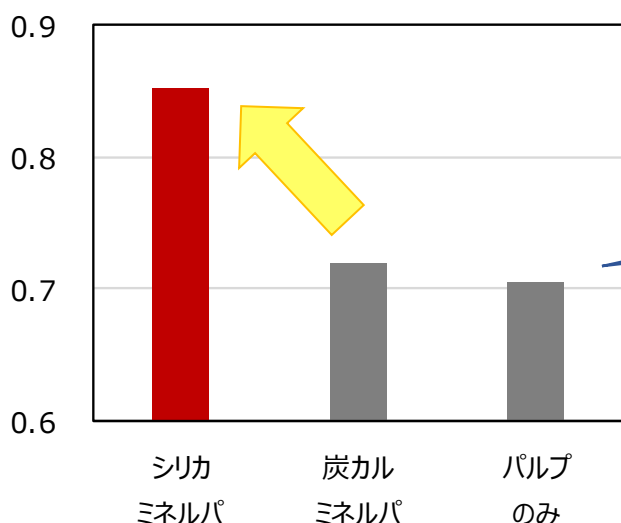
一例として、ケイ素、カルシウム、アルミニウムが含まれるマトリックスには、無機粒子としてシリカ、炭酸カルシウム、水酸化アルミニウムを担持したミネルパを用いることが可能です。

◀ 摩擦用途 ▶

シリカのように摩擦向上効果がある無機物を繊維に担持させることで、シート(紙)の摩擦を向上できると期待されます。

摩擦性能

紙の摩擦試験の結果 (ISO 15359: 1999に準拠) ※1回目の静摩擦係数



シリカを担持することで
静摩擦係数が向上

- シートの坪量 : 約60g/m²
- シリカミネルパの無機分 : 17%
- 炭カルミネルパの無機分 : 21%

お問い合わせ

[TEL] **03-3911-3408**

日本製紙株式会社 研究開発本部
基盤技術研究所 木質素材研究室 I

○WEBからのお問い合わせは[こちら](#)